



校長室だより 2

黒部市立萩生小学校
文責：校長 寺島紀子
令和5年6月16日
5年度第10号

6/10(土) 愛校作業&110番の家ウォーク ご参加いただきありがとうございました

去る10日(土)はPTA主催の愛校作業でした。週末のお忙しい中、たくさんの親子(あるいは保護者のみ、子供のみでも)に参加していただき、校舎内外の環境整備に取り組んでいただきました。

わずか1時間余りの作業でしたが、日頃の清掃では手の届かないところをしっかりときれいにしていただき、感謝しております。ありがとうございました。

また、下校の際には「こども110番の家ウォーク」にも多数ご参加いただきました。参加者全員で最初に訪れたお宅では、PTA会長と実行委員長の挨拶のあと、代表児童2名が感謝の言葉を伝えました。その後、110番の家の方のお話を全員で聞きました。その方はいつも子供たちの安全を願いながら黄色ののぼり旗を掲げておられるそうです。「困ったときはいつでも助けを求めてほしい。力になります」という温かいお言葉を直接聞くことができ、子供たちも保護者の皆さんも、嬉しく、力強く感じたことでしょう。その後、各分団に分かれて歩きながら、それぞれの下校ルートにある110番の家にも挨拶をして帰られたと聞いています。お疲れ様でした。

この日は自家用車を使わず自宅から歩いて参加された保護者の方も多かったことでしょう。このイベントの趣旨に賛同し、親子で参加していただき、ありがとうございました。

大切にしたい特別活動

先日、3年生から6月の誕生会への招待状をもらいました。国語科のお手紙を書く学習に絡めて、「何名かの先生を自分たちのお誕生会に招待しよう」となったようです。私は1年前の7月にも(当時2年生のこの学級のお誕生会に)おじゃましていたので、今回2回目でしたが、ますますパワーアップされて楽しい会でした。歌、質問タイム、プレゼントタイム、誕生月の子が選んだゲーム、…。主役である誕生月の子はもちろん、進行役の子、そしてそのほかの子も、どの子も笑顔で思い切りその1時間を盛り上げ、楽しみ合っていました。また、子供たちがこの誕生会を自分たちの学級の自慢のイベントだと思っているのがいいなあと感じます。つまり大げさに言えば、これは「学級の文化」です。

学級活動や児童会活動、クラブ活動、そして学校行事といった「特別活動」は子供たちの主体性や協働性を育てる素晴らしい意味のある教育活動です。反面、その下準備として教員の労力も必要です(こまで3年生の子供たちを育てた長島先生の指導に頭が下がります…)。指導に費やす時間や労力の効率化を図りながらも、個々の取組の教育的な価値を大切に考えていくことが求められているのだと思います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第10号への感想

年 児童名



今年度の音楽科の研究推進は・・・

12日(月)の午後は、魚津地区の小学校教育研究会の音楽科部会が本校で行われました。今回は、6年生(岡本真理子教諭)の授業を公開し、音楽科の指導にICTをどのように活用できるかを提案し、会員の先生方から意見をいろいろいただきました。

子供たちは今回、タブレット端末にダウンロードされた音楽アプリを使って合奏曲の各パートの音の重なり等を確認めるように学習を進めました。音色の味わいは実際の楽器には及ばないものの、技能的に苦手意識がある子でも手軽に各パートの旋律を繰り返し聴いて考えることができるよさなどがあり、音楽アプリの可能性とよりよい活用の方向を考える研修となりました。

今年度も荻生小学校は、県東部の音楽科の推進校として研究を進めていきます。皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



シリーズ「教室におじゃまします」6/14(水)2年音楽科の巻

「かっこう」を鍵盤ハーモニカで演奏する時間の続きでした。平野先生がゆっくり2回ピアノで旋律を弾く間に、子供たちはテキパキと楽器を準備します。

音の たかさに 気をつけながら、
うたったり ふいたり しましょう。

- 音の たかさに 気をつけながら、
かしましや ドレミで うたいましょ。
- うたうような かんじて、
→ 呼吸を ふきましょ。

かっこう

♪ 110-120

1 2 3 4 5 4 3 2 1 2 3 4 5 4 3 2 1

1 2 3 4 5 4 3 2 1 2 3 4 5 4 3 2 1

1 2 3 4 5 4 3 2 1 2 3 4 5 4 3 2 1

準備し終わった子も音を出さず指だけで練習しています。学習規律があります。「かっこう」はドレミファソの5つの音だけでできており、右手の親指(①の指)から小指(⑤の指)を5つの鍵盤のポジションに置いて演奏できる曲です。平野先生は「⑤③・⑤③・②①②①(ソミ・ソミ・レドレド)」と指番号で歌いながら子供たちをリードします。子供たちは、まずは音を出さず指だけで何回か、そのあと実際に音を出して演奏しました。



「みんな上手だけど、みんなで合わせることも大事だね」と4分休符の箇所を手拍子で確かめる学習もはさみこみ、3拍子の曲の感じを皆でつかみました。

最後の段の初めは「ソーミ ソーミ」と、ソを2拍分伸ばすのが少し難しいポイントです。ここも平野先生のリードに乗って何回も練習をしました。

短い親指でドの鍵盤を押さえるのが難しい子もいました。卵をしっかりとつかむように手指を丸くするといいのですが、このあたりはスタディメイトの山本さんにも個別にサポートしてもらいながら、少しずつマスターできる子が増えていました。技能的な個人差はありますが、一人一人が自分の鍵ハに向き合って一生懸命練習している姿が素敵でした。



おまけの<ひとこと> 3年生の誕生会の後半は体育館で「大根抜き」と「こおりおに」でした。実は私、この歳になるまで「大根抜き」で遊んだことが全くありません。心優しい3年生に誘われ、勇気を出して体育館の床に寝そべりました。腕を組んだ両隣の子には、時々引っ張り役の子供たちが近寄って足を引っ張ります。しかし、さすがに私のところには誰も近寄らず・・・、と思っていたら、なんと1人の男の子がやってきて私の足を引っ張ろうとしてくれました。これはまさに大根抜き! そしてやはり子供の力では簡単には抜けない「おおきなかぶ」。その子はやがてあきらめて別の所へ行きましたが、私には嬉しく貴重な体験でした。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。